

## 平成25年度 食品ロス削減シンポジウム 開催要領

### 1 目的

世界の食糧事情を見ると、世界的に穀物需給がひっ迫し、食糧価格も上昇基調にある中、発展途上国の多くの人々が、食糧不足に苦しんでいます。

一方、日本では年間約1,700万トンもの食品廃棄物が出されており、そのうち500万トンから800万トンは、まだ食べられるのに「食品ロス」として廃棄されているのが現状です。

このような「食品ロス」をなくすには、一人ひとりが「もったいない」を、意識して行動することが重要です。そのため、広島消費者協会では、広く一般に「無駄なものは買わない。」「食材を残さない調理の工夫等」などを訴えることにより、「食品ロス」の削減に取り組んできました。

このシンポジウムを開催することにより、あらためて、行政、事業者、消費者が連携して、「食品ロス」をなくすには「私達はどうすべきか」を広く訴えるとともに、「フード・バンク」や「食品リサイクル・ループ」により「食品ロス」を循環させていくことを強く要望したいと考えています。

- 2 日時 平成25年9月13日(金) 13:30~16:00
- 3 場所 広島商工会議所 101号室
- 4 参加者 200名(一般公募により、先着順申込み(FAX、郵送)の200名まで)
- 5 主催 公益社団法人広島消費者協会
- 6 後援 消費者庁(申請中)、広島市、広島商工会議所、NPO法人あいあいねっと
- 7 内容

13:30~ 開会挨拶

13:40~ 基調講演(1)

講師 消費者庁消費者政策課 政策企画専門官 長岡 紘史 氏

テーマ 食品ロスを減らすために

~消費者庁「食べもののムダをなくそうプロジェクト」~

基調講演(2)

講師 NPO法人あいあいねっと理事長 原田 佳子 氏

テーマ 食品ロス削減とフード・バンク活動の役割

14:40~ シンポジウム

コーディネーター 原田 佳子 理事長

パネリスト

行政 消費者庁 消費者政策課 政策企画専門官 長岡 紘史 氏

広島市 環境政策課 課長補佐 岡崎 理絵 氏

事業者 フジ 環境保全推進 品質管理室 室長 重松 昌司 氏

イズミ 営業企画部 業務課 課長 浅海 弘幸 氏

消費者 (公社)広島消費者協会副会長 川本 季子

16:00 閉会

- 8 その他 この事業は広島県消費者行政基金からの助成を受け、実施するものです。  
(入場無料)